

事務事業調書 平成23年度	No 492	課名 土木課	起案者 伊藤洋一
事業種別 施設整備		係名 道路建設係	決裁者 長坂辰美
事務事業名 生活道路新設改良事業		区分 継続	業務一覧No 3
		他係名	庶務係, 道路安全係
		他係業務一覧No	庶務係(1), 道路安全係(4)

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	3 自然と共生した環境づくり		予算科目(会計)	一般会計
	3 道路・交通		予算科目(款・項・目)	40-10-20
	1 道路		総合計画以外の計画	
	1 道路整備		関連する総合計画の施策	3-3-1-1-3
3 生活道路				
性質区分	市の内部事務事業		法定受託事務	無
根拠法令	無			
実施方法	一部委託	委託先	民間企業	
実施期間	開始	平成元年度	経過	22年目
公約・議会答弁	有	平成18年3月定例会(第1回)、平成18年3月建設常任委員会		
陳情・市民要望	有	町内要望		
終了			期間	

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	生活道路が	~になる	整備される
事務事業の内容	生活の道路拡幅工事の設計を実施する。 生活道路整備のための用地買収を実施する。 生活道路の道路拡幅工事を実施する。			
事務事業進捗状況	測量設計率測量設計済延長(772m) / 測量設計予定延長(777m) = 99.36% 用地買収率用地買収済面積(4901m ²) / 用地買収予定面積(5716m ²) = 85.74% 道路整備率道路整備済延長(1660m) / 道路整備予定延長(1970m) = 84.26% 代表路線名 市道赤松新屋敷5号線			
改善・対策の履歴				
環境配慮の視点	環境目標○—基本的施策○—具体的施策○ 08 良好な生活環境の保全 04 浸水・洪水対策の実施 04 道路舗装における透水性工法の推進			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	
総事業費 f=a+d+e	746,283	414,355	567,349	460,669	601,505	423,881	55,491	
財源計 a	706,600	374,295	529,172	427,085	568,900	386,306	26,500	
コスト 財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	0	0	
	その他()	90,200	11,657	27,889	21,266	195,200	83,419	120
	一般財源	616,400	362,638	501,283	405,819	373,700	302,887	26,380
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	120	
職員人件費 d	39,683	40,060	38,177	33,584	32,605	37,575	28,991	
内訳 従事職員数	5.27	5.32	5.07	4.46	4.33	4.99	3.85	
人事課予算分人件費 e	0	0	0	0	0	0	0	

4 求める成果を得るための活動

			年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
活動	活動①	活動名(活動内容)	測量設計	見込(単位)	394.00	342.00	0.00	0.00
				実績b(単位)	87.00	218.00	32.00	
		指標名(単位)	測量設計委託延長(m)	活動の総事業費f 実績	10,743	1,913	8,013	
				単位コストg=f÷b 実績	123.48	8.78	250.41	
	活動②	活動名(活動内容)	用地買収、移転交渉	見込(単位)	121.00	63.00	645.00	219.00
				実績b(単位)	58.00	152.00	502.00	
		指標名(単位)	用地買収面積(m ²)	活動の総事業費f 実績	22,199	23,902	114,819	
				単位コストg=f÷b 実績	382.74	157.25	228.72	
	活動③	活動名(活動内容)	工事施工	見込(単位)	876.00	475.00	0.00	0.00
				実績b(単位)	1,153.00	720.00	32.00	
		指標名(単位)	整備延長(m)	活動の総事業費f 実績	155,499	423,563	316,304	
				単位コストg=f÷b 実績	134.86	588.28	9,884.48	

5(1) 成果の目標と実績

			年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
成果	成果1	指標名・指標式(単位)	道路整備率(%) = 道路整備済延長(m) / 道路整備延長(m) (%)	見込(単位)	43.32	82.60	82.64	82.92
				実績(単位)	58.50	82.64	84.26	
				達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度				
	成果2	指標名・指標式(単位)		年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
				見込(単位)				
				実績(単位)				
				達成状況				
	目標成果指標値		目標達成年度					

5(2) 成果1、2以外の成果

成果	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入	
	道路工事を円滑に進めるため、沿線住民への工事説明・調整及び関係機関と調整しました。	

6 単位コストと成果の分析

項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	<p>単位コスト</p> <p>活動① 路線ごとの測量設計内容が異なるため単位コストに差異が生じました。 活動② 路線ごとの用地価格および補償内容が異なるため単位コストに差異が生じました。 活動③ 路線ごとの整備内容が異なるため単位コストに差異が生じました。</p> <p>成果1,2</p> <p>沿線住民及び関係機関との調整により工事を予定どおり完成することができました。</p>

7 所属長の改善案

改善	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
	道路整備工事を進めるにあたり、コスト縮減、環境への配慮、沿線住民及び関係機関との調整に努めます。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
拡充	生活道路の幅員を拡幅することにより、車両等の交通の円滑化が図られます。